

マーメイドロボットの開発

長崎大学大学院 山本郁夫

これまでの魚ロボットの技術をベースに、上半身がヒト型で下半身が魚型のマーメイド（人魚）ロボットを世界で初めて開発する。美しさとしなやかさをコンセプトに、上半身のヒューマノイドロボット（女性）による手や顔の動作と下半身の鰭（ひれ）によるなめらかな水中運動を特長とする。人魚ロボットは未だ開発されたことはなく独創性、新規性の高さはもとより、館内に設置された水槽を優雅に泳ぎ、手や顔の動作で観客とコミュニケーションをとるところにより、アミューズメント性を増大させる。また、ロボットはケーブル無しでの運動を基本とし、非接触でロボットに内蔵された電池の充電を行う。人魚ロボットを構成する魚およびヒューマノイドロボットの独自技術に加え、水中遠隔自動充電技術等未来型水中ロボットシステムとしての高い技術性もアピールする。

添付資料

魚ロボット技術の一例

非接触充電技術の一例

以上



